

# 『本願寺 広島別院 (安芸教区教務所) パート2』

全国の別院シリーズ その26

共命鳥(グミョウチョウ)は、一つの身体に二つの頭をもつ鳥。考え方、生き方が違っても、その命はつながっているという、鳥に姿をかえられた仏さまのみ教えを表しています。

『阿弥陀経』に、お浄土に住む鳥の名前が六つ出てきます。その中に「共命之鳥」といい、美しい羽毛をもち、きれいな声で鳴く鳥がいます。体が一つで頭が二つある奇妙な鳥ですが、大切な法を説いています。

多くの共命の鳥の中でも、とりわけ素晴らしい鳥がいました。しかし、二つある頭のいずれもが「わたしの頭の羽毛は比類なく美しく、声も世界一美しい」と確信し主張し合いました。そして互いに憎みあい争うようになり、遂には「片方さえ亡きものにすれば、この私が世界一になれる」と考えるようになり、ある日密かに毒を混ぜ、片方に食べさせました。食べた方はもちろん死にましたが、食べさせた方も体が一つですから、死んでしまいました。

この愚かな事件があつてから、お浄土の共命の鳥は「他を滅ぼす道は己を滅ぼす道、他を生かす道こそ己の生かされる道」と鳴き続けていると申します。これは鳥の姿に表された仏さまのみ教えであります。



条件が変われば何をするかわからぬ人間がつくっている社会であり、いたずらに対立をおおらず、常に他のいのちとのつながり、いのちのぬくもりを大切に願わずにはおれません。

「すべてのいのちの尊さや、存在を大切にしよう社会」のシンボルが共命鳥。

戦争をなくし、平和を願う安芸門徒のシンボルです。

## 今後の法要スケジュール

「初参式」(善教寺本堂)

五月二十七日(日) 午前九時半

\* 善教寺仏教婦人会主催

\* 記念品を贈呈しますので事前に申し込みください。

「宗祖聖人月忌」

門信徒様月命日法要 (善教寺本堂)

六月 十六日(土) 午後一時半

\* 毎月十六日に本堂において勤めております。

「安居会(夏の法要)」(善教寺本堂)

六月二十三日(土) 朝席: 午前十時

朝席: 午後一時半

講師 行友浩師(高屋町造賀正願寺)

\* 送迎マイクロバスを運行します

「イタリアン精進料理を頂く

懇親の旅」

六月二十九日(金)

浄謙寺(広島県山県郡北広島町奥原)

\* 善教寺仏教婦人会主催



ご縁に感謝

善教寺ホームページ『縁』 <http://otera.or.jp/>

メール [zenkyo@otera.or.jp](mailto:zenkyo@otera.or.jp)